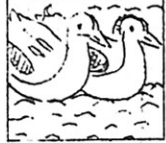


新報



転住所閉鎖に対する一見解

誠練に堪へる日系人

記者註—左記は十月十七日発行のワシントン山三ノズ中リイグーシー論説より抜萃グラナタ転住所の閉鎖は吾々のとりまつた恥多き事件に最後の終止符を打つた。

七万五千に余る米国民が強制的に密から逆は此何等の罪科もなく監視附の収容所に入れられた理由は、単に日系人の子孫と謂ふのみである。

斯かる監禁—如何に言葉を選んでも之が事實である事は動かせぬ。—は決して再び繰り返してはならぬ。

然かも今事件は終へた。米政府と反對に所内住民は擁護すべき記録を残した。グラナタ転住所は軍力乱雲の象徴である。此の乱雲こそ不合法延と阻止する事が出来なかつたのだ。然し此の事件は其反面逼逼せる間々ありながら示された忠誠の象徴でもある。又更に今一つ明確な事は米国民とは世界各國から集つた異民族の子孫に与へられた天賦の権限たる事である。最後に此の不幸な出来事を通して吾親愛なる

日系市民は奇蹟を誠練に堪へ尚且確信と誠實を失はなかつた事を記述した。

水に縋つて

実を求む

米戦史最高の叙動に輝く吾四二部隊に重ねて珍奇な戦功物語り、兼港クロニクル紙所載陸軍省の命を受けて日系兵の忠勇振りを加増遊説中の吾四二部隊

陽附クローリー大尉は此の如く語つた。此の事件は迷へる部隊を救出して約一ヶ月後に起つた出来事である。一步嘴が山上から監視中眼下の一小沼に横間、の故障で滑り上つた敵潜水艦を発見、小部隊は暗を藉さず五十ミリ機銃と臼砲を以つて攻撃開始十五分の後には敵艦を生閉せしめて之を分捕つた。

マイヤー氏よりトバズセンタ

宛の回答(前号より續)

この戦は実に複雑した問題で種々な方面から挑まなければならぬ。人而して結果が一朝一夕で現れませぬ。私は月並ましい好果が過去三年の中に見えぬと思ひます。WR A文が日系人を同等に取扱へと言ふ運動に努力して

中々各地米国人の同族友連を作つてなす此の友人の事も人権偏見の不正を唱へてゐる。ので十若し貴殿が今日の状態と五年前のセンタが出来た此の空気が比べて見れば、ならば必ず此の人権偏見と戦つた人々の努力が求むに現れて居る事に同意するものと信じます。貴殿の提案に感謝します。私は心から日系人が其の好む地方にWR Aが来るの香醇消す前、に定住される事を祈ります。貴殿のたゆまざる協力が此の仕事に容れに於ける事でありませぬ。

早島所長教便
最後の説教
宗教会最後の説教は、八月廿五日午二時、

捕虜招摺?
加州知事アールワレ氏は彼が日本兵捕虜を加州農園に使用すべく陸軍省に懇請したと報道を否定し、彼は實際に之に反対して居る者、声出したワレンより陸軍卿パターソン宛電報は、之が行はれるとすれば、非倫的、同建ひであり、悔を後遺残すもの、のみならず、飯運中の日系人に侮辱を亦して、おけに与り、人々を苦しめ、混乱を生ず、とあり、彼はしきりに捕虜招摺説を否定してゐる。

外部定住欄

紐育市増設の
新ホステル

紐育ユニタリアン教会
奉仕委員会の手に依り
収容人員が十名のホス
テルが来十月廿九日よ
り新に開かれる事にな
つた。東直三街五八に
ある五階建て世界各國
の集まる地域に隣接す
る所謂地の利を占める
場所である。建物は四
四寢室大食堂書庫等上
大宴会用に充分の設備
ある台所及遊戯場等を
有する堂々たるもので
ある。同所は中央停車場
よりバスで十五分中央
公園へは徒歩で五分の
距離にある加州よりグ
ラナダを経て来紐した
一世の三谷一郎氏夫妻
が所長と此の大衆族の
主婦を担当する。同氏は

東港を擁護で瀬産物商
を管んで居たグラナダ
では區長を務め救済部
顧問でもあり企業組合
でも活躍した事がある
又獲得では十四年間レ
ストラントを経営した
セントローに於ては
ホステルボーディングハウ
スの経験がある。宿泊料
其他詳細は後報但し申
込は紐育市転住支荷宛
早速手續をとりおはな
らぬ。ブルックリンホステ
ルは従来通り経営する。
一家合同の
服部一家
服部光子とトシ子シリン
の三姉妹の家は十月十
二日西親清三郎夫妻と
兄弟二人が出所して彼
女等と一緒に住む事と
なつた。彼女等は須市調
和を経てミゾリ州聖

女子ルスのパウエルテ
レス住宅に居を構えて
ゐる。
此所にはハンズド出
身の有村家族も居る又
ミネソカ出身の家族も
近くに住んで居る
此の住宅の支配人ツリ
ース氏は依ると未だ
寢室二又は三の家が空
いて居る

此處には華人家族で家
の必要なる人は入る事が
出来る又家賃は収入に
応じて仕拂ふ。
日系人の貢獻
十月九日ミルオーギ
市ホステルに於て米國
救済方面人士を前に四
名の人々が戦時及平時
に於ける日系人の貢獻
に付いて語つた。
四名とは四四二部隊從
軍牧師山田正天大尉南
サハ佐藤正雄及ハロル
ドマンの諸氏である。
本社員小椋氏は東部
を視察中三週同滞に

捨てる神あれば拾ふ神あり 土は招く東部諸州

遂に時は来り最平や過
去を思ふ南島心持では
ない今は將來に眼を注
ぎよのみぞ
何処へ行く？ しが島
の同連である今日の法
断が明日の幸福をもた
らすの感嘆は涙に落ち
る結露ともなる
立派で居るは根こそぎ
にこゝろにさすれば外注
吾々の第一にすべき事
しめ大地に根を下す
である。東部地す三伏
住支局の人々は或々の
為土地を耕やし或々が
根を植ふるばかりでは
ない。情慮備見組織的
と協力を依り約五十の
人根を下すより付理
解と親切とを耕す小石
土地に根を下すすか
い所々あるの何故西
東部諸州よりの
良の仕事口
調和住民の本部へ行く
気持の人が多くなつた
のでそ本に應えて紐育
三アーク及東部のWRP
支局とグリーンズ人は特
別和住民の多就職口を
得ると三支局の再組織
を進行し大活動をして居
る。各カウチの官吏や地
主は居るばかりではな
い。住民の同情ある援助
はレロケーションのプラ
イム氏又は定住研究部
の成田氏と委員会の
事務所に訪れ度し。
▼草の種
里手及長子の種の入用
の方はら10E追

を保證されてゐる。又何
のジョーがし細密なる調
査を経て凡て支南島の
之ならばと思つた物は
かりであると思つた物ば
つてある点は甚だ力強い
是らしたジョーがは生だ
後にも送つて来る事と
思ふ。
家庭果樹園野菜園養蠶
等の仕事でセントアイ
は糖でも申込む事が出
来たと十一月五日から
九日迄は加州へ帰還す
る林との通知を受けた
人で此の仕事口を取つ
て東部の外へ住して
も好のである。そして二
三家族が連立つて行か
れる機会もある。
詳しい事の知り度い人
はレロケーションのプラ
イム氏又は定住研究部
の成田氏と委員会の
事務所に訪れ度し。
▼草の種
里手及長子の種の入用
の方はら10E追